

新しき年、おめでとうございます。

山形県スポーツウエルネス吹矢協会

会長 天池 眞樹

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界で猛威をふるい、東京オリンピック・パラリンピック競技会をはじめ多くのイベント・行事が中止や延期を余儀なくされ、本当に生活がガラッと変わった年でした。世の中はステイホームへと流れていきました。

山形県スポーツウエルネス吹矢協会においても、日をたどれば3月の認定試験から始まり、県協会総会、県大会、各種講習会、資格認定試験、東北大会、六魂大会、新春吹き初め会、全国大会の青柳杯、選手権大会、オープン大会、・・・これらも全く同じで、中止や延期となりました。一緒に集まっただけの吹矢が出来ず。練習会場が使用中止や、使用制限となりました。吹矢仲間達の顔を見ることも出来ず、会話も楽しめずといった、新しい生活様式の中に放り込まれてしまった感が続きました。これらのこともあってか、昨年末までに山形県スポーツウエルネス吹矢協会加盟の4つの支部と1愛好会が解散となり、80人ほどが離れていきました。

さて、先日出逢ったある教えに、

「過ぎ去った日のことは悔いず、まだこない未来にはあこがれず、とりこし苦勞をせず、
現在（いま）大切にふみしめてゆけば、身も心も健やかになる。」パーリ（中部辞典）

何故かこの時期、心に響きました。自分が実行するのは難しいことですが、
今年は少しでも日々の生活を、これまで以上に大事にしたいと思います。

またいくつになっても夢を持ち続けたいと思います。

令和3年になっても、あらゆる活動・行動が規制されている状況が続いています。
基本的な予防に徹し、感染リスクを避け、山形県スポーツウエルネス吹矢協会の仲間から
感染者を出さないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。